

**製品名: リン酸化 BRAF (Thr401) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00709**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BRAF
別名	BRAF; BRAF1; RAFB1; Serine/threonine-protein kinase B-raf; Proto-oncogene B-Raf; p94; v-Raf murine sarcoma viral oncogene homolog B1
遺伝子 ID	673
SwissProt ID	P15056
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

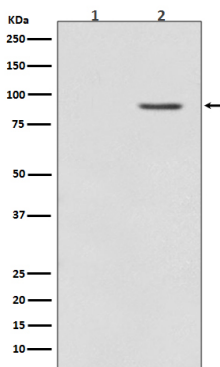
**背景**

細胞膜から核への分裂促進シグナルの伝達に関与する。海馬ニューロンのシナプス後応答に関与する可能性がある。甲状腺がん、皮膚メラノーマで頻繁に変異し、ヒトの様々ながんでも低頻度で変異が認められる。活性化ループのリン酸化を模倣する活性化変異は、悪性黒色腫検体の60%に認められる。Raf変異は、一般的にRas活性化変異のみに認められる。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



(1) PC-12 溶解物中の Phospho-B Raf (T401) のウェスタンブロット分析、  
(2) Phospho-BRAF (Thr401) 抗体を用いた TPA 処理した PC-12 溶解物。